



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月10日

上場会社名 黒田精工株式会社 上場取引所 東
コード番号 7726 URL <https://kurodaprecision.com/jp/>
代表者 （役職名）取締役社長 （氏名）黒田 浩史
問合せ先責任者 （役職名）取締役管理本部長 （氏名）荻窪 康裕 TEL 044-555-3800
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2027年3月期第1四半期	4,632	29.3	△65	—	△108	—	△10	—
2026年3月期第1四半期	3,583	△13.0	△191	—	△222	—	△171	—

（注）包括利益 2027年3月期第1四半期 654百万円（－％） 2026年3月期第1四半期 △153百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	△1.81	—
2026年3月期第1四半期	△29.94	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2027年3月期第1四半期	31,366	12,225	38.5	2,157.68
2026年3月期	29,203	11,626	39.2	2,048.70

（参考）自己資本 2027年3月期第1四半期 12,068百万円 2026年3月期 11,458百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期（予想）	—	5.00	—	15.00	20.00

（注）1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 2026年3月期 第2四半期末配当金の内訳 創業100周年記念配当金 10円00銭

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
第2四半期（累計）	11,100	28.8	150	—	50	—	10	△91.7	1.76
通期	25,800	32.3	770	—	550	—	330	—	58.31

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社 (社名)、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2027年3月期1Q	5,743,286株	2026年3月期	5,743,286株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	150,150株	2026年3月期	150,150株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2027年3月期1Q	5,593,136株	2026年3月期1Q	5,712,184株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予測の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、(添付資料) 2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は雇用・所得環境の改善や企業の設備投資の増加等を背景に回復基調で推移しました。一方で、中東情勢の緊迫化に伴う原材料・エネルギー価格の上昇に加え、為替動向による影響等、世界経済は依然として先行き不透明な状況が継続しております。

こうした状況下、当社グループの受注高は、昨年末以来、駆動システム事業における半導体・液晶関連装置市場向け商品の受注が高水準で継続していること等により6,170百万円（前年同期比1,206百万円、24.3%増）となりました。

売上高については、半導体・液晶関連装置市場向け駆動システム商品の売上増加に加え、車載用モーターコアの売上が増加したこと等により4,632百万円（前年同期比1,049百万円、29.3%増）となりました。

利益面に関しては、駆動システム事業において単体、米国子会社等の営業利益が大幅に改善したものの、金型システム事業において新規プロジェクトの立上により一時的にコストが増加したことと、減価償却費をはじめとした新規プロジェクトの費用が先行したこと等により営業損失65百万円（前年同期は営業損失191百万円）となりました。

上記営業損失の結果を受け、経常損失108百万円（前年同期は経常損失222百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失10百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失171百万円）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりです。なお、下記セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含めて表示しております。

○ 駆動システム

当セグメントでは、昨年末以来、急回復した半導体・液晶関連装置市場向け商品の受注が高水準で継続しており受注高は3,227百万円（前年同期比1,787百万円、124.2%増）と大幅に増加し、先四半期に続いて過去最高となりました。売上高についても受注高の増加に伴い、2,143百万円（前年同期比736百万円、52.3%増）と受注高の増加には及ばないものの大幅な増加となりました。

収益面では、上記売上高の増加に伴い単体、米国子会社等の営業利益が大幅に改善したこと等により営業利益271百万円（前年同期は営業損失94百万円）と黒字回復となりました。

○ 金型システム

当セグメントでは、家電用モーターコアの受注が減少したこと等を主要因として受注高は1,904百万円（前年同期比303百万円、13.8%減）となりました。売上高は車載用モーターコア金型が減少したものの、車載用モーターコアの売上が増加したこと等により1,870百万円（前年同期比326百万円、21.1%増）となりました。

収益面においては、売上高はモーターコア商品を中心に増加したものの新規プロジェクトの立上による一時的なコストの増加、減価償却費をはじめとした新規プロジェクトの費用が先行したこと等から営業損失289百万円（前年同期は営業利益4百万円）と損失計上となりました。

○ 機工・計測システム

当セグメントでは、工作機械部門、要素機器部門においては増加となったものの、精機部門において前年同期に特定顧客からの大口受注を計上したため、受注高は1,048百万円（前年同期比272百万円、20.6%減）となりました。一方、売上高は要素機器部門で増加となったものの、工作機械部門の売上が第2四半期以降に集中した影響で期中計上が限定的であったこと等により629百万円（前年同期比8百万円、1.4%減）となりました。

収益面では、利益率の改善等に努めた結果、営業損失45百万円（前年同期は営業損失95百万円）と損失縮小となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産額は31,366百万円となり、前連結会計年度末と比較して2,163百万円増加しました。これは主に棚卸資産の増加等により流動資産が1,349百万円増加、投資有価証券の増加等により固定資産が814百万円増加したことによるものです。

負債合計額は19,141百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,564百万円増加しました。これは主に長期借入金金の減少等により固定負債が73百万円減少した一方、仕入債務の増加等により流動負債が1,637百万円増加したことによるものです。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は12,225百万円となり、前連結会計年度末と比較して598百万円増加しました。これは主に利益剰余金の減少等により株主資本合計が66百万円減少した一方、その他有価証券評価差額金の増加等によりその他の包括利益累計額合計が675百万円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

駆動システム事業においては、半導体・液晶関連装置市場向け商品の受注が高水準で継続しており、当初計画を上回る業績となる見込みです。一方金型システム事業において、第3四半期以降に本格的に開始する新規プロジェクトの売上見込等が未確定である事や、モーターコア大手顧客で生産計画の下方修正の情報がある事など不確定要素がある状況です。これに加え、2026年7月29日に開示いたしました投資有価証券の売却が終了しておらず最終的な金額が確定できない状況等を勘案し、2026年5月13日に公表いたしました2026年第2四半期業績及び通期の業績予想につきましては変更しておりません。今後の業績動向を見ながら、修正の必要性が生じた場合は速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,360,854	2,929,240
受取手形	2,303	634
電子記録債権	252,656	269,616
売掛金	5,151,929	5,808,165
商品及び製品	1,362,769	1,312,441
仕掛品	2,187,538	2,715,164
原材料及び貯蔵品	1,068,408	1,276,733
その他	1,140,523	1,562,872
貸倒引当金	△3,175	△2,214
流動資産合計	14,523,809	15,872,654
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,070,615	4,038,054
機械装置及び運搬具（純額）	1,582,492	1,506,928
土地	1,869,755	1,869,755
リース資産（純額）	2,102,166	2,033,773
建設仮勘定	697,086	803,430
その他（純額）	229,054	268,335
有形固定資産合計	10,551,171	10,520,277
無形固定資産		
その他	177,356	210,158
無形固定資産合計	177,356	210,158
投資その他の資産		
投資有価証券	2,757,314	3,730,933
繰延税金資産	979,928	817,441
その他	215,733	216,943
貸倒引当金	△1,751	△1,729
投資その他の資産合計	3,951,224	4,763,588
固定資産合計	14,679,752	15,494,025
資産合計	29,203,561	31,366,679

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,326,964	2,033,179
電子記録債務	972,931	1,130,308
短期借入金	4,385,771	4,814,920
リース債務	383,008	398,517
未払法人税等	160,408	58,963
賞与引当金	256,579	425,560
受注損失引当金	9,646	14,373
資産除去債務	42,324	42,324
その他	1,997,658	2,254,863
流動負債合計	9,535,294	11,173,011
固定負債		
長期借入金	4,029,950	3,970,862
リース債務	1,778,169	1,736,978
再評価に係る繰延税金負債	369,190	369,190
役員退職慰労引当金	17,977	18,472
退職給付に係る負債	1,227,253	1,257,492
その他	619,154	615,543
固定負債合計	8,041,696	7,968,541
負債合計	17,576,990	19,141,552
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,952,174	1,952,174
資本剰余金	1,578,783	1,578,783
利益剰余金	5,029,732	4,963,641
自己株式	△147,309	△147,309
株主資本合計	8,413,380	8,347,289
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,385,894	2,065,595
土地再評価差額金	803,960	803,960
為替換算調整勘定	712,274	716,609
退職給付に係る調整累計額	143,200	134,766
その他の包括利益累計額合計	3,045,330	3,720,933
非支配株主持分	167,859	156,903
純資産合計	11,626,570	12,225,126
負債純資産合計	29,203,561	31,366,679

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	3,583,735	4,632,809
売上原価	2,894,723	3,719,143
売上総利益	689,011	913,666
販売費及び一般管理費	880,095	979,528
営業損失(△)	△191,084	△65,861
営業外収益		
受取配当金	4,807	12,542
為替差益	—	21,182
設備賃貸料	9,068	8,267
スクラップ売却益	7,100	17,561
受取補償金	35,025	—
その他	3,246	7,294
営業外収益合計	59,248	66,848
営業外費用		
支払利息	36,039	62,733
為替差損	16,970	—
持分法による投資損失	6,499	18,396
補償金原価	19,034	—
その他	11,841	27,929
営業外費用合計	90,385	109,059
経常損失(△)	△222,221	△108,072
特別損失		
固定資産除却損	2,840	62
特別損失合計	2,840	62
税金等調整前四半期純損失(△)	△225,062	△108,134
法人税、住民税及び事業税	△23,080	62,893
法人税等調整額	△37,073	△146,953
法人税等合計	△60,153	△84,060
四半期純損失(△)	△164,908	△24,074
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	6,157	△13,915
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△171,066	△10,159

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純損失(△)	△164,908	△24,074
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	78,672	679,701
為替換算調整勘定	△64,895	7,294
退職給付に係る調整額	△2,257	△8,433
その他の包括利益合計	11,519	678,561
四半期包括利益	△153,388	654,487
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△154,455	665,443
非支配株主に係る四半期包括利益	1,066	△10,955

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2025年4月1日 至2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	駆動 システム	金型 システム	機工・計測 システム	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,401,814	1,543,950	637,970	3,583,735	—	3,583,735
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,491	—	455	5,946	△5,946	—
計	1,407,305	1,543,950	638,425	3,589,681	△5,946	3,583,735
セグメント利益又は損失 (△)	△94,130	4,927	△95,650	△184,853	△6,231	△191,084

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△6,231千円は、セグメント間取引消去△1,671千円と報告セグメントに帰属しない一般管理費△4,559千円であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2026年4月1日 至2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	駆動 システム	金型 システム	機工・計測 システム	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,133,585	1,870,319	628,904	4,632,809	—	4,632,809
セグメント間の内部売上高 又は振替高	10,217	—	673	10,891	△10,891	—
計	2,143,803	1,870,319	629,578	4,643,700	△10,891	4,632,809
セグメント利益又は損失 (△)	271,506	△289,591	△45,360	△63,445	△2,415	△65,861

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△2,415千円は、セグメント間取引消去△2,415千円であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	278,548千円	300,401千円

(重要な後発事象)

投資有価証券の売却

当社は、2026年7月29日開催の取締役会において、当社が保有する投資有価証券の一部を売却することを決議いたしました。この決議により2027年3月期第2四半期連結会計期間において、特別利益（投資有価証券売却益）を計上する見込みとなりました。

1. 売却理由

保有資産の効率化と財務体質の強化を図るため。

2. 売却の内容

- ① 売却株式 当社保有の上場有価証券 4銘柄
- ② 売却時期（予定） 2026年7月末～8月（予定）
- ③ 投資有価証券売却益 900百万円（見込み）

※投資有価証券売却益は、決議日前日の当該有価証券の株価から算出した見込み額であり、変動する場合があります。